

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 すびか		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 39
○従業者評価実施期間	2026年 1月 15日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりに合わせた支援を行っている。	ひとりひとりの支援内容について振り返りも含め、スタッフみんなで話し合う時間を確保している。	スタッフひとりひとりの専門性を高めるため、事業所内研修や外部研修などの参加を行っている。
2	支援の方向性について保護者と話し合っている	保護者同室である意味を見学時にご説明し、ご理解を頂けるように努めている。支援の方向性についても、こちらから積極的に話しさせていたいただいている。	保護者との考えの相違を出来る限り減らすために、節目に限らず日常的に支援の方向性・アセスメントについてお話しさせていただくようにする。
3	支援の効果を感じてもらえる。	お子さんひとりひとりのアセスメントに時間をかけて支援計画を立てている。	スタッフの専門性をより高めること、楽しく過ごす中で発達を促す方法についてお伝えし続ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他の保育園、認定こども園等の交流が少ない。	保護者との交流の場は月1回すびべアの会として開催しているが、完全個別療育であることや平日のみの開所のため交流の場の開催が難しくなっている。	必要に応じてイベントなどの企画、開催などを検討していく。
2	マニュアル等の周知が行き届いていない。	各マニュアルなどを作成し手に取れる場所に置かれているが、新しく契約された保護者にはお伝えできていない事があった。	今後、マニュアルなどの置き場など再度お声掛けをしていく。今後、訓練の発信も行っていく。
3	階段が急である。	今まで事故、怪我などはないが階段の上り下りなどで今以上安全面での配慮をしていく。	階段横に柵の設定は行っているが上り下り、トイレに行くなどの時には保護者にも声掛けをさせていただき、他に対策があるか引き続き対策をしていく。